

2014 年 2 月 24 日
株式会社 山と溪谷社
<http://www.yamakei.co.jp/>

ヨーロッパ文化の深層を探る、ちょっと風変わりな文化考。ロングセラー『魔女の薬草箱』の姉妹本『不思議な薬草箱 魔女・グリム・伝説・聖書』を刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：関本彰大）は、2月21日に『不思議な薬草箱 魔女・グリム・伝説・聖書』を刊行しました。



「魔女」と「薬草」の関係をひもとくユニークなテーマで、2006年に刊行されて以降、ロングセラーとなっている『魔女の薬草箱』（西村佑子著 山と溪谷社 現在第5刷）の姉妹本が、ついに登場です。著者は同じく、魔女研究の第一人者、西村佑子さんです。

今回は、「薬草」を経糸に、「魔女・グリム・伝説・聖書」を緯糸にして、より重層的に構成されています。「魔女」やさまざまな「伝説」が生み出された背景を、「薬草」をキーワードに解き明かす、ちょっと風変わりなヨーロッパ文化考といってよいでしょう。巻末には、「ドイツ薬草園と魔女迫害の跡地を訪ねる」附録がついて、ドイツの旅の参考にもなります。

「文化史の謎をたぐりよせ、解きはほぐす巧みな語り手、フシギの魔女。」

（池内 紀・ドイツ文学者 同書の帯文より）

【目次】

第1章 グリム童話 魔女と薬草

- 1 「白雪姫」——白雪姫の継母は魔女か・セイヨウリンゴ、2 「ネズの木の話」——甦りの木・セイヨウネズ、3 「いばら姫」——「賢い女」は魔女か・イヌバラ、4 「六羽の白鳥」——呪いを解く草花・ハナニラ／アストランティア・マヨール、5 「ラプンツェル」——金髪の娘と魔法使いの女・フェルトザラート、6 「ホレおばさん」——祝福されたニワトコの木・セイヨウニワトコ

第2章 ドイツの伝説 魔女と不思議な植物

- 1 「ドリュベックの若者」——ヴァルプルギスの夜と薬草・魔女草、2 「魔女ヴァーテリンデ」——薬草摘みの乙女、3 「アルラウネ」——フィクションになった植物・マンドラゴラ、4 「コルヴァイ修道院のユリ」——死とつながる花・ユリ、5 「ジークフリートの死」——竜の血とボダイジュの葉・セイヨウボダイジュ

第3章 聖書 古い時代の植物

- 1 雅歌 ——ザクロの片割れのような頬・ザクロ／ナルド／没薬／乳香／ヘンナ、2 過越祭 ——最後の晩餐のメニュー・ホースラディッシュ（セイヨウワサビ）／ニガヨモギ／クレソン（オランダミズカラシ）、3 十分の一税 ——支払

いは薬草で ハッカ／イノンド（ディル）／ウンコウ（ヘンルーダ）／クミン

附録・ドイツの薬草園と魔女迫害の跡地を訪ねる

【著者プロフィール】

西村佑子 にしむら・ゆうこ

うお座。早稲田大学大学院修士課程修了。青山学院大学や成蹊大学の講師を経て、現在はモアビートプロモーションの「ドイツセミナー」講師。これまでに「グリム童話の魔女たち」展（栃木県いしばし町グリムの館）の企画・監修やドイツ魔女街道ツアーの同行講師、薬草専門誌に連載記事を掲載するなど、ドイツの魔女と薬草にかかわってきた。主な著書に『グリム童話の魔女たち』（洋泉社）『ドイツ魔女街道を旅してみませんか?』（トラベルジャーナル）、『魔女の薬草箱』（山と溪谷社）、『ドイツメルヘン街道夢街道』（郁文堂）など。

【書籍概要】

書名：不思議な薬草箱 魔女・グリム・伝説・聖書

著者：西村佑子

仕様：四六版（188mm×128mm）並製

ページ数：176ページ

定価：本体価格1500円＋税

ISBN：978-4-635-81010-4

発売日：2014年2月21日

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://impress.jp/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：関本彰大、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ＋サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社山と溪谷社 担当：勝峰

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 住友不動産九段北ビル8階

TEL03-6744-1911 メールinfo@yamakei.co.jp